

熊谷誠慈 編著

国民の
幸せをめざす
王国

ブータン



2011年11月、第5代ブータン国王夫妻が初来日した。東日本大震災後の閉塞感だよう日本に「幸せの国」の代表者が訪れ、日本文化の素晴らしさと両国関係の重要性について演説を行ったことで、日本人は大きく勇気づけられ、ブータンへの関心が一挙に高まった。ブータンに詳しい9人の専門家が、この仏教王国の魅力と真の姿をエピソードたっぷりに語る

ブータン学入門書

ブータンの国民は実際に幸福？
ブータンの仏教と王制はどうなっている？
ブータンは戦争をしたことがない？
ブータンのめざす近代化とは？
ブータンと日本の関係は？

2017年
7月11日
刊行予定



知れば知るほど魅せられる国ブータンの実像



定価：本体1,800円＋税
四六判／並製／約240頁

創元社

エピソード
1

東ブータンの知事が、ある農民に収穫量が格段に増える稲を試験的に栽培するよう依頼した。農民がそれを栽培すると、本当に二倍のコメが収穫できた。知事は、来年もこの稲を植えるよう依頼した。しかしその農民は「私は来年分のコメまで収穫したから、来年は余裕を楽しみ、精神的な生活を送りたい」と断った。(本書第2章より)

エピソード
2

第二次ドゥアル戦争のとき、ブータン国王は軍事作戦に出る前に、アッサム独立派ゲリラの31のキャンプを全部自分で訪ねて行った。そのときに国王はじめ随行者は誰一人武器を持たずに行って何度も解決策を話した。

インドからの最後通牒を受けて、ブータンは軍事作戦を取らざるをえなくなった。そこで軍人の最高司令官は首都ティンブーに残ったまま、国王自らが義勇兵である王子と連れ立って戦場に陣頭指揮に赴いた。

軍事行動に移ったとき、国王は全義勇兵、全兵士を前に演説した。それに先だって、国王の命で高位の僧が次のような訓示をした。「あなた方は慈悲の心を持たねばならず、敵といえども、他の人間と同じように扱わねばならない。あなた方は、夫であり、子どもであり、親であり、兄弟であり、友達である。ゲリラ兵もみな誰かと何らかの関係にあることに変わりはない。仏教徒として殺生が認められるとは絶対に思ってはならない」。(本書第3章より)

エピソード
3

ブータンではこの10年で尼僧院が急増している。なぜ尼僧の道を選んだのかと尋ねると、「魂の来世」、つまり自分の魂が次に進みゆく場所のために功德を積むのだという。尼僧が急増している原因のひとつは「女性の権利」。社会が近代化する中で「女性の権利」が共有され始め、女性たちが夫や子どものためだけでなく、自分自身の魂の向上のためにこの人生を使うという発想をもつようになったのではないかと。 (本書第7章より)

エピソード
4

第四代国王のお后ドルジ・ワンモ・ワンチュクさんの「ブータンにおける現代仏教」というご講演の中に、次の一節がある。「私たちブータン人は、本当の意味で開花した人間および社会を実現する、別な近代化の道があるのではないかと模索しています。本当に開花した人間とは、単に開発の主人公としての人間とは別物です」。(本書第8章より)

エピソード
5

ブータンのGNHは日本にも影響を与えている。東京都荒川区はGAH(グロス・アラカワ・ハッピーネス)を掲げ、「区政は区民の幸せのためにある」という行政方針に真剣に取り組んでいる。GAHを構想する際、荒川区は職員をブータンに派遣してGNHのエッセンスを学ぶことから始めた。荒川区が中心となり、2013年に「住民の幸福実感向上を目指す基礎自治体連合」、通称「幸セリーグ」という地方自治体連合が結成された。真に住民本位の自治体を目指して、相互に学びあい、誰もが幸福を実感できる温かい地域社会を築いていこうというまちづくり宣言である。(本書第8章より)

目次

第I部 ✦ ブータンの歴史

- 第1章 ✦ ブータンの歩みをたどる……熊谷誠慈
第2章 ✦ 日本・ブータン交流史……栗田靖之

第II部 ✦ ブータンの文化

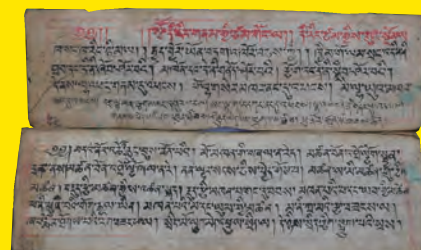
- 第3章 ✦ ブータンの仏教と戦争……今枝由郎
第4章 ✦ ツェチュ祭……今枝由郎
第5章 ✦ イエズス会宣教師の見たブータン——仏教とキリスト教……ツェリン・タシ
第6章 ✦ ブータンの工芸品……ラムケサン・チューベル

第III部 ✦ ブータンの社会

- 第7章 ✦ ブータンの新世代……西平 直
第8章 ✦ ブータンの魅力とGNH(国民総幸福)の現在——世界はGNH社会を求めるのか……草郷孝好
第9章 ✦ 関係性から読み解くGNH(国民総幸福)……上田晶子

第IV部 ✦ ブータンの自然・環境

- 第10章 ✦ 東ブータンの自然と農耕文化……安藤和雄



◆ 編著者 熊谷誠慈 (くまがい・せいじ)

1980年生まれ。京都大学こころの未来研究センター上廣倫理財団寄付研究部門部門長／特定准教授。京都大学大学院文学研究科仏教学専修博士後期課程修了。京都大学博士(文学)。専門は仏教学(インド・チベット・ブータン)・ボン教研究。著書にBhutanese Buddhism and Its Cultureなど。センター内に開設されたブータン学研究室でブータン仏教研究プロジェクト、京都大学ブータン研究会、ブータン文化講座の開催などを行っている。

◆ 共著者

栗田靖之(国立民族学博物館名誉教授)、今枝由郎(京都大学こころの未来研究センター特任教授)、ツェリン・タシ(ブータン王立自然保護協会理事)、ラムケサン・チューベル(ブータン王国工芸品振興事業団CEO)、西平直(京都大学大学院教育学研究科教授)、草郷孝好(関西大学社会学部教授)、上田晶子(名古屋大学大学院国際開発研究科准教授)、安藤和雄(京都大学東南アジア研究所准教授)

創元社

<http://www.sogensha.co.jp/> 〈本社〉〒541-0047 大阪市中央区淡路町4-3-6 Tel.06-6231-9010
〈東京支店〉〒162-0825 東京都新宿区神楽坂4-3 煉瓦塔ビル Tel.03-3269-1051

Fax.06-6233-3111

創元社申込書 この注文書にて最寄りの書店へお申し込みください。書店ご不便の場合は直送もいたします(送料360円。2冊以上のお買い上げは送料無料)。

ブータン		国民の幸せをめざす王国		熊谷誠慈 [編著]	定価：本体 1,800 円+税		
				創元社	() 冊 申し込みます		
		年 月 日		取り扱い店名			
ご住所	〒		—				
お名前	フリガナ		TEL () —				